

精神科作業療法室 作業療法士 今城 恵理

今年も第21回スピリットアート展(高知県障害者美術展)に精神科作業療法室として作品を出展しました。今回はお花紙を丸め白と黒で鶴を作り、その周辺を折り紙で作った鶴を飾るという作品を作りました。しかし、結果は落選というものでした。患者様皆さんに協力してもらい、紙を丸める作業から鶴を折る作業と細かな作業が多かったため入選を期待していましたが、残念な結果となってしまいました。この悔しい思いを糧にし、来年は入賞できるように頑張っていけたらと思っています。



入院患者さんより

スピリットアート・かかしコンテストの感想

- ◆皆でよく頑張った。感心する。
- ◆賞をもらうのは大変だと思った。
- ◆一人の力より皆の力がすごいと思った。
- ◆髪の毛一本一本からはじめて、かかしの形になった時はすごいなと思った。
- ◆髪の毛を付けるのが大変だった。
- ◆3つの賞をもらったのは合っていたと思う。

第36回 刃物まつり

高知県立鏡野公園

H29.10.14(土)～
15(日)

主催：香美市商工会・
刃物まつり実行委員会



精神科作業療法室 作業療法士 今城 恵理

今年も山田のかかしコンテストに精神科作業療法室も出展しました。スピリットアート展が終わるすぐにかかしコンテストになるため、2週間程度の作業期間でしたが何とか出展することができました。今年のタイトルは『げにまこと勝負するぜよ!!』とし、高知県知事と高知県出身歌手、三山ひろし氏でけん玉対決している様子をかかして表現しました。けん玉をどのように表現するかが苦労した点ですが、患者様にも手伝ってもらい、躍動感あるけん玉に仕上がりました。結果としては、上位には入りませんでした。参加賞として3つ頂くことができました。短期間という中での参加賞3つは良かったのではないかと思います。山田のかかしコンテストは毎年参加する恒例の行事となっていますので、来年こそは上位入賞を目指して大作を作っていけたらと考えています。



精神科デイケア室主任 精神保健福祉士 竹村 哲也

今年もスピリットアート展作品と並行してかかし作りを進め、大変だったが無事にかかしコンテストに参加できました。作品テーマの候補はいくつかありましたが製作期間を考えた結果、お笑い芸人の「あきら100%」に決まり、香美市での開催ですのでアンパンマンとの合作として進めました。土台となるものをスタッフが作った後はメンバー中心で製作を進め、意見を交わしながらアレンジし、最終的には凝ったアートの仕上がりになりました。当院の合作作品は子供や工科大生には受けていたようで一緒に写真を撮られる方を見かけました。他にもユニークでアイデアいっぱいの作品が会場には並び、時事ネタや人気キャラクターをテーマにしているものも多く、材料も様々でした。結果、コンテストでは2つの賞(企業と個人から)を頂くことができました。

メンバー ジミ・ヘンドリクスさんより

- ◆始めはかかしの髪の毛を少なくさみしかつたので黒の毛糸で増毛をする時はとても楽しかった。あと、目の辺りをはっきりさせるために毛糸やペットボトルの透明な部分を工夫して絵画を作った時はちょっと得意げでした。楽しく「かかし、製作に取り組めてうれしかったです。

ふれあい 看護体験

公益社団法人
高知県看護協会主催

H29.8.2 (水)



ふれあい看護体験を経験して



2病棟看護師 齊藤 由佳

いろいろな高校・学科から、高校生がふれあい看護体験に来られ、受け入れ担当者として参加させていただきました。午前は検温や手浴など看護業務を実践してもらいましたが、今まで専門学校生への指導がメインの実習しか経験がなかったため、ついつい専門的になったり堅くなってしまいうこともあり、学生さんの頭の上に”??”の文字が見えることもたびたびでした。午前は緊張していた学生さんでしたが、午後からは作業療法で患者さんと一緒に調理を行い、調理室はとてにぎやかな空間でした。患者さんとの交流をシンプルに楽しんでくれている学生さんと、いつもより笑顔や冗談の多い患者さんを見ていると、自分の業務や関わり方が気付かないうちにルーティン化していたのではないかと考えられました。体験学習のお手伝いというようなスタンスでいたのですが、感受性豊かな学生さんのフレッシュな姿に学ぶことも多く、私自身、良い機会をいただいたと感謝しています。また新たな気持ちで看護師としてケアをしていきたいと思います。ありがとうございました。



高知県立丸の内高校 1年 島崎 唯華

今日初めて、ふれあい看護体験に参加させて頂きました。いろいろな病院がある中で、私は、南国病院さんを選びました。自分の家から近い病院なのに一回も行ったことがなく、病院内はどんな感じなんだろう！と興味半分緊張半分でした。行ってみると、思っていた通り高校1年生は私1人だけで、他の人皆が先輩でした。気まずくならないかな・・・1人で全部行動しないといけないかな・・・と不安でいっぱいでしたが、南国病院さんの方が高校1・2・3年生を均等になるようにニグループに分けてくれていて、同じ学校の人同士も分けてくれていて、気軽に話しかけられることができました。体験しやすい環境が南国病院にはあるので、ぜひ来年も来たいな。私みたいな1年生も、ぜひ来てほしいなと思いました。

1日体験をしてみて思ったことは、医療関係者さん皆の仲の良さに、とても驚きました。自分がもし働いたら南国病院が良い！！と思いました。「看護師という職を自分の人生の仕事にする。」と考えると、気が引けるところがありましたが、やはり看護師になりたいなと思いました。

今日は、本当にありがとうございました。